

国産石灰窒素のスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の農薬登録適用範囲が拡大しました

春施用のとき、荒起し後に石灰窒素を(30kg/10a)散布してから湛水する方法ができるようになり、散布作業がより簡便に行えるようになりました。

作物名	適用場所	適用病害虫(雑草)名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農薬の総使用回数
水稻	-	スクミリンゴガイ	30kg/10a	植代前	1回	散布。荒起し後全面に散布、3~4cmに湛水し、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	-
			20~30kg/10a			散布。荒起し後3~4cmに湛水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	
				刈取後(水温15℃以上の時期)	散布。3~4cmに湛水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。(漏水を防止すること)		

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除に国産石灰窒素!!

■石灰窒素の働き
 ①国産石灰窒素は、水田のスクミリンゴガイ幼虫に効果があり、農薬登録を受けています。
 ②石灰窒素の成分がカルシウムとアミドは、水中でアンモニウムに分解し、殺虫効果があります。
 ③効果時期は、田植え後、稲の生育初期です。いりやりの時期においても、湛水することによって湛水するスクミリンゴガイを水死にさせ、水死に侵入したアミドに分解することができます。

■国産石灰窒素のスクミリンゴガイの農薬登録適用範囲が拡大しました!
 ■農薬登録適用範囲の拡大内容
 の荒起し後に石灰窒素(30kg/10a)を散布してから湛水する方法ができるようになりました!

作物	適用場所	使用量	使用回数	使用時期	使用方法	石灰窒素を含む農薬の総使用回数
水稻	-	30kg/10a	1回	植代前	散布。荒起し後全面に散布、3~4cmに湛水し、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	-
		20~30kg/10a		刈取後(水温15℃以上の時期)	散布。3~4cmに湛水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。(漏水を防止すること)	

【効果時期】
 ①田植え後、稲の生育初期
 石灰窒素散布後の効果(1997年) | 石灰窒素散布後の効果(1998年)

石灰窒素散布量(kg/10a)	効果率(%)	石灰窒素散布量(kg/10a)	効果率(%)
122	32.2	150	31.0
209	18.0	259	18.0
322	18.0	322	18.0

②効果率(効果率)
 石灰窒素散布後の効果(2018年)

散布量(kg)	効果率(%)	散布量(kg)	効果率(%)
20	2.0	20	2.0
20	2.0	20	2.0
20	2.0	20	2.0

■国産石灰窒素の品質
 国産石灰窒素は、品質が安定しており、効果も安定しています。また、環境にもやさしく、安心して使用することができます。

石灰窒素の使い方

■田植え前防除のとき(標準用) ●20~30kg/10a

- ①荒起し・湛水
荒起し後3~4cm湛水し、3~4日放置してください。
- ②石灰窒素の散布
湛水した田面に石灰窒素を全面に散布し、3~4日放置してください。
- ③代かき・田植え
代かきを行った後、3~3日以内に田植えを行います。

■30kg/10a(標準用) ●湛水方法の適用範囲が拡大しました!

- ①荒起し・石灰窒素の散布
荒起し後、湛水した田面に石灰窒素を全面に散布し、3~4日放置してください。
- ②湛水に湛水
3~4cm湛水し、3~4日放置してください。
- ③代かき・田植え
代かきを行った後、2~3日以内に田植えを行います。

■稲刈り後防除のとき(秋施用) ●20~30kg/10a

- ①湛水
稲刈り後、3~4cm湛水し、1~4日放置してください。
- ②石灰窒素の散布
湛水した田面に石灰窒素を全面に散布し、3~4日放置してください。
- ③湛水
田植えを行った後、2~3日以内に田植えを行います。

日本石灰窒素工業会
 〒103-0045 東京都千代田区千代田2-3-4 TEL:03-5207-5841 FAX:03-5207-5843 <http://www.ncic.jp>

「石灰窒素だより」アンケートにご協力ください

毎年1回発行している「石灰窒素だより」をさらに充実した内容とするため、アンケートのご協力をお願いします。

つきましては右記の二次元コードによる回答または同封のハガキによる回答をお願いします。



一般向け先アンケート



試験・研究先向けアンケート

ご協力よろしく申し上げます。